



一隅を照らそう
2月号

349号
毎月28日発行



折りふしのはな

わびすけの

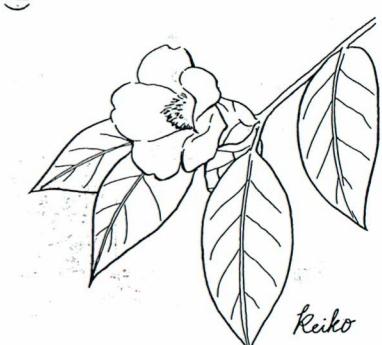
花 一輪

その つましさよ

侘助の

花 その

控え目な 美しさよ (遊)



教えはどこにでも

住職 中島 有淳

つもりちがい十か条

- 「高いつもりで 低いのが教養
- 「低いつもりで 高いのが気位
- 「深いつもりで 深いのが知識
- 「浅いつもりで 深いのが欲望
- 「厚いつもりで 薄いのが人情
- 「薄いつもりで 弱いのが面皮
- 「強いつもりで 強いのが自我
- 「弱いつもりで 弱いのが分別
- 「多いつもりで 少いのが分別
- 「少いつもりで 多いのが無駄

*

*

天台宗の高祖であります中国の天台大師智顗(538~597)は、お經を読むのに四つの方向から注意して読むようと説かれました。

第一 この言葉がどういう因縁でここに使われているのか考

え知りなさい。

第二 性質の異なる多くの人々に対して説かれた言葉である

から、正しく意味を汲み取るように努めなさい。

第三 仏の言葉は月を指し示す指であり、最終的に月を観て喜ぶのはあなた自身です、と教えます。

第四 最終的には仏の心が自分自身にもあり同じだという」とを観じとりなさい。

仏の教えは限り無い人間に対し無量の教えを説いています。されば、「俗には文字あり 真には文字なし」といわれ、これらの四

つのことは、人間の世界には伝達の言葉や文字があるが、仏の世界には文字はない。無い世界を文字にするのであるからそこに限界があります。

しかし、経典の文字の中には仏の心が入っています。それを正しく仏の気持ちとして受けとめるのは我々の責務であります。

我々のこの生老病死の世界から仏の世界にたどり着くには沢山(無量)の教えがあります。しかしその言葉一つ一つには無量の教えがあり、仏の心が一つの言葉に含み込まれています。

一つの言葉は色々に理解出来ますが一つ一つを注意深く見極めれば、やがてそこに仏の意とすることにたどり着きます。このことは自分の真の心を觀察し、仏の真実を自分の真実とするこになれば、仏が色々と自分に方便を施してくれることが解ります。最終的には正しく同じにものを見ることを教えられ、自分の心と仏の心が通い合うと知った時、仏の世界と同じ自覺が生まれ、自分でとあるところに行きつくのでしょうか。

その為には惡を近づげず、常に自分の心を觀察し、善根を植え、常に大慈悲に包まれていることを忘れるなど説いています。だから「教えはどこにでも」ということになるのです。仏心(ほとけごころ)を自分の中に据えることは、時間と空間を超えて、自分の行いを正しくしていくことにつながります。

行 事 案 内	
◎毎月八日 午後二時	薬師如来祈祷会 観音經讀誦
◎毎月十二日 午後二時	智泉院法要日(於・日本橋茅場町)
◎毎月十八日 午後二時	觀音經讀誦法要(於・神木觀音堂)
◎毎月二十八日 午後二時	不動明王護摩供修行

※マスク着用の上、静かにご参詣下さい

*毎朝六時より公開で朝のお勤めをしてあります
ご都合のよろしい時にはご一緒にどうぞ

節 分 会 二月三日(金)午後二時

- ◎息災護摩札(志納金 一体五千円)
- ◎厄除護摩札(志納金 一体五千円)
- ◇自動車交通安全お守り(志納金 三千円)
- 盜難除け御札(志納金 一千円)
- 火難除け御札(志納金 一千円)

※感染症対策の上、厳修致します
追儺式(豆まき)は中止し、福豆はお配りします

あ と 加 も

○二月十五日はお釈迦さまの「涅槃の日」。当時としては高齢の八十歳でクシナガラの地で入滅。聖者の穏やかな死であり、その教えは仏教として発展し、無限の真理を今日まで伝えています。

○最近は葬式や法事の規模が縮小・簡略化され、弔う内容により良いあり方が問われています。人生の節目に宗教を考える時、今までの家の宗教と、自分との関係を考えざるをえません。

○ロシアがウクライナに侵攻して一年。悲惨な戦いに打開の糸口が見つかりません。周辺のNATO諸国も悩ましい立場のようですが、ロシアはこんな戦争をしていて大丈夫なのでしょうか。

○二月五日は初午(はつま)農耕社会であった日本では「五穀豊穫」は一番の関心事。農作物の自給率が下がり、輸入にたよる現状とはいえ、初午に祈る自然への「畏敬」は大切です。

○寒中お見舞い申し上げます。二月四日は立春です。余寒厳しい折柄、呉々もご自愛下さい。